

私がフラワーアレンジメントと出会ったのは今から20年前。勤務先の有馬高校に新たな学科が創設され、生徒に教えることになったことがきっかけです。

生徒への指導に先立って、学科創設の1年前から大阪のフラワーアレンジメントの教室に通い勉強しました。私にとっても初めての経験でしたが、やってみると面白く、その魅力にどんどんはまっていきました。結局教室には3年間通い、厚生労働省認定の1級フラワー装飾技能士、日本フラワーデザイナー協会の講師資格も取得しました。有馬高校では、生徒にフラワーアレンジメントの基本を教えています。生徒が作品を作るときは、生徒の発想力や考える力を活かすことを大切にしています。私もその中で必要なアドバイスなどをしながら、一緒に作り上げていくことがとても楽しいです。また、作品を通じて生徒の頑張りや成長を見

まえにし たかひこ
前西 隆彦さん
(67歳・林田)



県立有馬高校勤務

フラワーアレンジメントの魅力を伝えたい



ることができ、高校生の全国大会などでも好成績を収める姿を見ることがとても嬉しいのです。フラワーアレンジメントのいいところは、季節ごとに自然に咲いている花を使って、子どもから年配の方、男性、女性、どなたでも楽しむことができることです。これまでフラワーアレンジメントを通じて、多くの人と出会い、助けていただきました。将来は、その魅力を地域の皆さんに伝えるような活動をするので、お世話になった人々への恩返しができると思います。



※「瞬」の掲載希望者・団体を随時募集中。
詳細は町ホームページの募集情報を参照！



猪名川中学校

こども作品コーナー

◀馬という文字の下部分を、普通の馬ではなく、シマウマにして描きました。

井上恭嘉さん（1年）



◀画面の中心の2人を境に、昔と今の沖縄の対比を、色づかいを工夫して表現しました。

宮本彩羽さん（3年）



山青花欲燃

▶今回の作品は力強さを少しいれつつ、なめらかに仕上げました。

山下夕月さん（3年）

◀一画一画、誠意を込めて書くように、心がけました。

田中雅姫さん（2年）

青雲希望

私たちのまち、猪名川町は四季を通じて豊かな自然を感じられる「清流のあるふるさと」です。早春のこの時期、若菜摘みや探梅が楽しめる清流沿いの道をご案内します。

清流沿いに春を訪ねる

今月の担当ガイド



ふくおか としあき
福岡 利昭さん



歴史街道からの風景

ンポポの葉が、少し身を起こして蕾を持ち上げていたり、ヨモギは柔らかな葉を広げています。紫外線や寒さから身を守るために赤く染めていたスイバの葉も緑色を取り戻してきています。

道の駅から1kmほど歩くと、「スポーツセンター」に着きます。そこから川の土手を進み、寺前橋を渡ると「長宣寺」に着きます。ここからは猪名川左岸沿いに散策路が伸びています。田の土手にはヨモギやアザミのほか、ツクシもたくさん見られ、一層早春を感じる道になります。

まもなく「柳津」の案



▶町観光ボランティアガイド申込・問合せ 産業観光課 (☎ 766 - 8709) ※詳細は町ホームページ



道の駅 いながわだより

▶問合せ ☎ 767 - 8600

今月のピックアップ野菜

春菊（道の駅での入荷時期 11月下旬～6月下旬ごろ）

日本では鍋の食材に欠かせない春菊ですが、原産地とされている地中海沿岸ではキクの匂いが好まれないため、食用ではなく観賞用として栽培されているそうです。春菊の独特の香りと苦味は茎より葉に多く含まれ、加熱することで苦味が強くなります。生の状態ではあまり苦味を感じないので、苦手な人は生や10秒程度の短時間での加熱調理がおすすめです。



【選び方】 葉の緑色が濃く、ツヤがあるものが良いでしょう。根元まで密生し、香りが強いものほど新鮮です。茎は細いほうが柔らかく、おいしくいただけます。葉が小さく、切れ込みが細かいものは、生食に適しています。

【保存方法】 春菊は傷みやすいため、1～2日で使い切りましょう。保存の際は湿らせた新聞紙に包みビニール袋に入れ、冷蔵庫で保存してください。

3月の主な出荷野菜 春菊、生しいたけ、ほうれん草、ミズナ、キャベツ、菜の花、わさび菜、わけぎ、大根、プチヴェール など

《3月のイベント》
やよいまつり 22日(日)10:00～十割そば手打ち実演・販売、刃物研ぎ・金物販売、海産物販売、そば雑炊の振る舞い（100人限定）